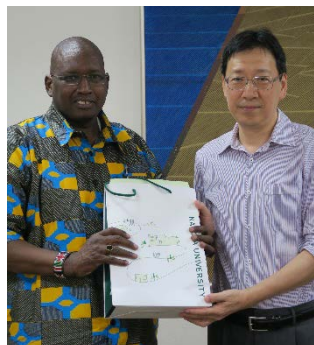
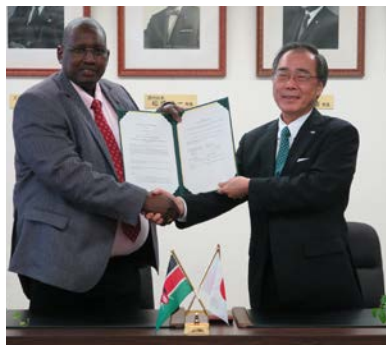




名古屋大学とケニア農畜産業研究機構(KALRO)との間で学術交流協定が締結されました(2019年8月27日)



キレガー機構長が生命農学研究科を表敬訪問(2019年8月26日)



松尾総長とキレガー機構長が学術交流協定のMOUに調印(2019年8月27日)



ケニア農畜産業研究機構(KALRO)機構長のキレガー博士は、トランスフォーマティブ生命分子研究所(ITbM)の招聘により名古屋大学を訪問され、生命農学研究科にも表敬訪問されました(2019年8月26日)。名古屋大学とKALROとの間の学術交流協定が生命農学研究科、理学研究科、農学国際教育研究センター、ITbM、生物機能開発利用研究センターおよびアジア共創教育研究機構から共同申請され、松尾総長とキレガー機構長によって理事、副総長ならびに関連部局長出席のもと覚書が調印されました(8月27日)。ケニアは東アフリカ地域の政治、経済の中核を担う国であり、研究および教育においても域内で大きな影響力を持っています。本協定締結により、アフリカ農業の課題解決を出口とする共同研究がさらに活発化し、学生の交流推進が期待されます。